事務所通信　No.343　　令和６年５月１日

社会保険労務士法人
新潟県新発田市新富町１丁目５番９号　篠田パートナーズ事務所　☎ 0254-22-5649 ㈹

事 業 継 続 計 画 （ＢＣＰ）

■　災害・感染症に負けない強い企業へ!!

～災害・感染症に強い会社づくり～

事業継続計画（以下ＢＣＰという）は、緊急事態において事業資産の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは、早期復旧を可能とするために行う活動や手段などを取り決める計画です。

ＢＣＰは、企業や組織が災害や危機的状況に遭遇した際に、迅速かつ効果的に事業を継続できるようにするために制定されます。

■　ＢＣＰの具体例



ＢＣＰの目的

①　**自然災害発生時において、**人命を優先として従業員および家族の安全と生活を守る。

②　**被災からの早期復活を図り、**お客様の要請に従い、迅速にサービスを提供し顧客への影響を極小化する。



事業継続目標

業務において、２週間以内にお客様の情報を収集し、３週間以内に平常レベルへの復帰をめざす

事業継続戦略

①　現地での事業再開を基本とする。

②　甚大な被害が発生し、現地再開が困難な場合は、同業者等にて業務を再開する。





地 震 発 生

当日から翌日：人命安全＆二次災害の防止

～２週間　：事業への影響を見極めて事業継続戦略を決定

３週間 ～ ４週間　：事業継続戦略に基づいた対応実施



▲事業継続性の確保

災害や事故が発生した場合でも、事業を継続できる体制を整えること。



▲リスクの軽減

事業資産や情報の損失を最小限に抑えるための対策を講じること。



▲迅速な復旧

事業活動を早期に再開できるようにするための手順を明確にすること。

ＢＣＰは、中小企業から大企業まで幅広い組織に重要になります。適切なＢＣＰを策定し、運用することで、事業の持続性を高め、リスクに対する備えを整えることができます。

■　事業継続力強化計画認定制度

ものづくり・商業・サービス補助金の獲得、ＩＴ導入補助金（セキュリティ対策推進枠）の獲得、低金利融資減税、保証枠の獲得ができます。

認定を受けられる中小企業者の業種は、個人事業主、会社（会社法上の会社（有限会社を含む）及び士業法人）、製造業その他卸売業、小売業、サービス業、ゴム製品製造業、ソフトウェア業又は情報処理サービス業、旅館業、企業組合、協同組合、事業協同組合等となっています。

業種によって、資本金の額又は出資の総額、常時使用する従業員の数は、異なります。

※　個人事業主については、開業届が提出されていること。法人については、法人設立登記がされていること。組合等については、構成員の一定割合が中小企業であることが必要です。

※　医療法人や社会福祉法人は、対象外です。

詳しくは**経済産業省中小企業庁ホームページ**
https://www.chusho.meti.go.jp/
事業継続力強化計画　を参照してください。

［ 今月号の記事担当 ： P1.2/平野聖士 ＊ P3.4/篠田昇 ］

マ イ ナ 保 険 証

本年12月２日から現行の保険証が発行されなくなります。

マイナンバーカードを保険証として利用するための登録がまだの方は、以下の２つの準備が必要となります。

■ step１ マイナンバーカードを申請

▲ 申請方法は選択可能です。

① オンライン申請（パソコン、スマートフォンから）



② 郵便による申請

③ まちなかの証明写真機からの申請

■ step２ マイナンバーカードを健康保険証として登録



▲ 利用登録の方法。

① 医療機関、薬局の受付（カードリーダー）で行う。

② 「マイナポータル」から行なう。

③ セブン銀行ATMから行う。

■ マイナンバーカードを保険証として使うと

① 現在の保険証よりも医療費を20円節約でき、自己負担も低くなります。

② 過去のお薬情報や健康診断の結果を見られるようになるため、身体の状態や他の病気を推測して治療に役立てることができ、お薬の飲み合わせや分量を調整してもらうこともできます。

③ 限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。

■ 電子処方箋と合わせて便利に

① 過去に処方されたお薬の情報と今回処方されるお薬の情報を照らし合わせ、飲み合わせの悪いものはないか、効果が同じお薬のもらいすぎにならないかをチェックできます。



② 過去に処方されたお薬情報を複数の医療機関薬局をまたがって医師、歯科医師、薬剤師に共有することができるため、事故や災害時でも安心、安全な処方を受けることができます。

※ 本年12月２日以降、マイナ保険証を保有していない方には、申請いただくことなく「資格確認書」が交付され、引き続き、医療を受けることができます。（マイナ保険証を紛失等した場合は、保険者に申請することで「資格確認書」が交付されます。）

※ 本年12月１日の時点でお手元にある有効な保険証は、12月２日以降、最長１年間（来年12月１日まで）使用可能です。

詳しくは**厚生労働省Webサイト**でご確認いただけます。→

（令和６年３月時点）

労 働 保 険 年 度 更 新

労働保険とは、労働者災害補償保険（労災保険）と雇用保険のことを言います。

労働保険年度更新とは、新年度の概算保険料の申告・納付と、前年度の確定保険料を申告・納付する手続きのことです。

労働保険料は、毎年４月１日から翌年３月31日までの間で対象となる労働者に支払われた賃金総額に、事業所の定められた保険料率を乗じて算定します。 （建設・林業等例外あり）

▲ 本年度の申告の納付期限は、７月10日（水）

弊社労働保険事務組合に委託されている事業所の口座引落日は、下記のとおりです。

第１期 令和６年６月28日 （金）
第２期 令和６年10月31日 （木）
第３期 令和７年１月31日 （金）



■ 拾い読みの読書

森信三　運命をひらく
３６５の金言

著　者／　森信三 著　藤尾秀昭 編
出版社／　致知出版社　　2,300円＋税

P38　起きてから寝るまでいつも腰骨を立てて曲げない、これは主体的になるための極秘伝であるばかりでなく、健康法という面からも第一です。肩の気張りがとれて全身の力が臍下丹田（せいかたんでん）に収まって、ドッシリと落ち着いた人間になれます。

P67　人生を深く生きるということは、自分の悩みや苦しみの意味を深く噛みしめることによってかような苦しみは、必ずしも自分一人だけのものではなく、多くの人々が、ひとしく悩み苦しみつつあるのだ、ということが分かるようになることではないかと思うのです、これに反して、人生を浅く生きることは、自分の苦しみや悩みを、ただ自分一人だけが悩んでいるもののように考えて、これを非常に仰山（ぎょうさん）なことのように思い、そこからして、ついには人を憎んだり恨んだりして、あげくの果ては、自暴自棄に陥るわけです。

P74　人間が真に欲を捨てるということは、実は自己を打ち越えた大欲の立場にたつということです。すなわち自分一身の欲を満足させるのではなくて、天下の人々の欲を思いやり、できることなら、その人々の欲をも満たしてやろうということであります。

P108　人間の価値は、その人がこの二度ない人生をいかほどまで自覚するか、その自覚の深さに比例すると言ってもよいでしょう。

P211　「下座行」とは、自分を人より低い位置に身を置くことです。言い換えれば、その人の真の値打ちよりも、二段、三段下がった位置に身を置き、しかもそれが「行」と言われる以上、いわゆる落伍者というのではなく、その地位に安んじてわが身の修養に励むことを言うのです。

■ 拾い読みの読書　Ⅱ

なぜこんな人が上司なのか

著　者／　桃野 泰徳
出版社／　新潮新書　　760円＋税

P128　部下の人生を預かり、その人生に大きな影響を与えている重責を理解しているリーダーがどれだけいるだろうか。他者の人生や想い、すなわち“命そのもの”に向き合うことすらできていないのであれば、そもそもリーダーシップとは何であるのかすら、理解できていないのではなかろうか。

P154　リーダーになる幹部自衛官は皆、『任務分析』という教育を受けています。・・・『必成目標』は、必ず達成しなければならない具体的目標。『望成目標』は、可能であれば達成すべき目標。あらゆる任務で、これを意識します。

P166　つまらないリーダー：異常値の表層に一喜一憂しデタラメな指示を出しまくってしまう。
並みのリーダー：数字を正確に把握した上で適切な改善方法を部下に指示する。
できるリーダー：数字を正確に把握した上で部下に指示し、改善方法を自ら考えるように促す。
最高のリーダー：数字を正確に把握し問題を理解しながら一切口を出さず、ギリギリまで耐えることができる人だ。

■ 画像通信



今年の新発田城の桜、満開は４月14日

事務所共通 e-mail ： sinoda2@niks.or.jp　　相談役 e-mail ： srsinoda@niks.or.jp

最近の出来事から (343号)

■ ケニア (R6.3.29)

▲本当の不幸とは「誰からも愛されない」こと、本当の貧困とは「今日、食べるものがない」状況をいうのだろうかと考えさせられたナイロビ郊外のストリートチルドレン保護施設を訪ねた。

▲切っ掛けは、Ｎ技科大の先生方が５年前に水も電気もない地区の施設に設置した浄水装置の稼働状況の確認に同行させて頂いたことである。

▲この施設は、日本人女性がケニア政府から25年前に認可を受けてストリートチルドレンの保護活動を続け、今は海外協力隊員として同国にやってきた元看護師の若き女性がその意思を継ぎ代表を務めていた。

▲収容される子供たちは、親から育児放棄され、路上生活の中で物乞い、スリ、かっぱらいで空腹をしのぎ、それでも耐えられず手っ取り早くシンナー吸引で空腹を紛らわせていたという。

▲施設に保護され、衣食住の不安から解放され、学校にも通い、農作業で汗を流す環境に変わり、徐々に落ち着きを取り戻して行くという。事実、一度保護されたものの施設を脱走し、最近連れ戻されたという少年と他の少年の目の落ち着きが違って見えたものである。

▲モロヘイヤとジャガイモに週一回の特別の肉が入った炒め物とトウモロコシの粉を湯で練り上げた主食を右手で捏ねて、美味そうに平らげ、私たちの食器まで片づける姿に目を細めた。

▲物質的豊さの中でも不満を訴え、不満の原因を他人に求める日本の風潮や、テレビインタビューで堂々と「仕事にやる気なし」と答える公務員等に、一度アフリカ行きを勧めたくなった。

■ 現実 (R6.4.1)



▲年寄りの冷や水と言われようが、１km８分台後半のペースで約7.5kmのウォーキングを日課としているが、その効果か帽子を被れば年齢より若く見られることもあることを体力の根拠に、アフリカへの旅に出かける気にもなった。

▲マダガスカルでは、青年海外協力隊員（女性）の活動「農村地区における女性グループへの栄養指導」を見る機会があり、首都アンタナナリボから車で90分程走り、人がどうにかすれ違うことができる山道を、隊員から教えてもらった現地の言葉「サラーマ（こんにちは）」と村人に声を掛けながら登ること15分、村の集会場に辿り着いた。

▲椅子を勧められ参加者を待ち、女性20人、子供30人くらいが集まった頃に、日ごろから活動に協力して頂き助かっているという「村長」が現れ、長老への敬意と咄嗟に席を譲った。しかし後で、村長は46歳と知り、我が早とちりに苦笑した。

▲そして３日後のロンドンの地下鉄。混雑した車両に乗り込んで中程に移動しようとしたとき声がして振り向くと、席に座っていた青年が立ち上がって私に視線を向けている。状況が掴めず周囲を見渡すとほほ笑み返され、席に座れと言っていることを理解し、好意を素直に受ける覚悟を決め、人生初めて見知らぬ人から席を譲って貰った。

▲「50、60はなたれ小僧、70、80働き盛り、90になって迎えが来たら、100まで待てと追い帰せ」と虚勢を張っていても、この若者からは異国の年寄りにしか見えない現実を突きつけられ、込み上げる可笑しさに耐えながらずっと俯(うつむ)いていた。

▲マダガスカルで46歳の村長に席を譲りながら、ロンドンで青年に現実を教えられた思いである。